

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市石川記念武道館	評価対象年度	平成24年度
事業者名	株式会社 明治スポーツプラザ	評価者	地域振興課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	幸区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		3,599	3,771	3,537	3,637	3,222	3,752	4,436	3,519	3,060	3,097	3,405	3,911
収支実績 (単位:千円)	収入	指定管理委託費				14,937							
		利用料金収入				4,408							
		事業収入他				1,355							
		収入計				20,700							
	支出	管理運営費				16,175							
		支出計				16,175							
収支差額					4,525								
サービス向上の取組	<p>・幸スポーツセンターと共通のホームページによるリアルタイムな情報発信や、広報誌の発行、ミニコミ誌への掲載により、施設の広報や事業内容を発信し、利用者に対するサービスの向上に取り組んでいる。また、メール会員の募集を開始し、携帯電話を利用した情報発信を行い、利用者の促進を図っている。</p> <p>・頻繁に来館できない利用者等のために、回数券の有効期間を、指定期間終了時(平成28年3月31日)まで延長しサービスの向上に取り組んでいる。また、10枚分の料金(1,000円)で12枚セットの幸スポーツセンターとの共通回数券を発行し、幸スポーツセンターのトレーニングルーム等も利用できるようサービスの向上に継続して取り組んでいる。</p> <p>・利用者の意見や要望を把握するために「ご意見箱」を設置するとともに、第三者機関に委託し、顧客満足度調査を実施するなど、利用者ニーズの把握と改善に努めている。</p> <p>・バレンタインデーやホワイトデーなどの時期にはイベントを開催し、チョコレート等を配布した。また年初の武道初めの催しにはお汁粉の無料提供など、利用者サービスを行った。</p> <p>・正面入り口脇の植栽を低くし、道路から施設が見えるよう工夫し、六武道の名前が入ったのぼり旗を掲出するなど、武道館の敷居を低くすることで、親しみやすい環境設定を行い、利用者拡大につながる取り組みを進めている。</p>												

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)	<p>・事業計画に基づき、適切な施設の運営を行っている。</p> <p>・各種武道団体と連携を図り、円滑な管理運営を行うとともに、利用率の低い時間帯を活用し、武道場で開催できる武道以外の護身術やヨガ・ピラティス等の教室種目を工夫することで、武道館になじみのなかった層を取り込み、武道館の認知度向上と施設の有効活用を図っている。</p>			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無きよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	4(0.8)	4
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.8)	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	4(0.8)	4
(評価の理由)	<p>・指定管理者は、プライバシーマークの認定を受けており、教室申し込みなどにより収集した個人情報については適正に管理されている。また、アルバイトを含めた全ての職員に研修と理解度のテストを毎年実施するなど、職員の資質の維持向上に努めている。</p> <p>・全ての職員を対象に、避難誘導訓練及び救命救急訓練を定期的実施するなど、万一の事態に適切な対応がとれるよう体制を整えており、職員は、緊急時に適切かつ迅速に行動するなどの危機管理意識を持って業務に当たっている。また、利用者の避難経路が確保されるよう、適宜施設を巡回するとともに、必要に応じて改善を図るなど、安全管理に努めている。</p>				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業が実施しているか。	5	3(0.6)	3
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に基づいた事業の実施がなされている。</li> <li>・柔道、剣道等の各種武道教室は、講師等の都合による休講や日程変更が一度もないなど、全て予定通り実施できている。</li> <li>・幼児スポーツ広場、ピラティス・ヨガ教室を開催するなど、幅広い世代への利便性を図っている。</li> </ul>					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算と決算の比較増減があるが、支出超過することなく、安定した運営が行われている。</li> <li>・安全性を確保した上で、利用者にも協力を呼びかけながら一部消灯するなど、節電の取組を実施し、経費節減にもつなげている。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	63	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・第2期2年目となる24年度は、第1期で得たノウハウを活かしながら全体的に安定した管理運営がなされている。また、公の施設としての理念を十分認識し、地域におけるスポーツ活動の拠点として、区民の健康増進や地域スポーツの推進に寄与するよう努めている。

・公平、公正な管理運営に努め、公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たしている。

・より幅広い世代の利用を促進するために、ヨガ・ピラティス教室など武道以外のプログラムを実施することで武道館に無縁であった市民を取込み、武道館の認知度向上を図るための工夫をしている。

・あいさつ、声かけを積極的に行うことで、利用者との距離を縮めるよう心がけるとともに、利用者の意見や要望を聞きながら、可能なものは改善し、また、対応が困難なものについては説明責任を果たすなど、利用者の視点にたった運営を行っている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・施設の老朽化の対応を図りながら、施設利用に支障をきたさないよう引き続き適切な維持管理を行うこと。

・公共性と効率性に配慮しながら、武道以外の取組も含め、積極的に事業の企画立案をし、利用者の少ない時間帯の有効活用を図ること。

・今後も武道の普及、振興に努めるとともに、より多くの市民に施設を利用してもらえるよう積極的に事業を企画立案し、取組を進めていくこと。

・利用者の視点にたったホームページの改善、広報媒体を使った情報発信等、施設の広報・PRに努め、一層の施設利用の促進を図ること。

・事故や災害などの緊急時に備え、迅速かつ的確な行動を確保するため救命救急訓練や避難誘導訓練を実施するとともに、行政等への速やかな連絡や報告についても対応が図れるよう危機管理体制を維持・継続して構築しておくこと。